

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

重点施策 包括的な支援体制づくり

★めざす姿 ⇒ 複雑化・複合化した課題の解決に向けた支援のために、支援を必要とする人（世帯や支援対象者）をさまざまな活動主体とともに包括的に支援する地域にします。

- ★実現に向けて
- ① 複雑化・複合化した課題に対応するため、各相談支援機関などの相互の有機的な連携により、包括的な支援体制づくりを推進します。
 - ② 地域包括ケアシステムを推進します。
 - ③ 地域生活課題を共有する場や地域福祉に関する要望を把握する場を設けます。
 - ④ さまざまな活動主体同士がつながる場を設けます。
 - ⑤ 地域の課題解決に取り組むため、コミュニティソーシャルワーカーの配置などを推進します。

No.	実現に向けての主な目標	回答課	現状 (R2)	目標 (R8)	R4	令和4年度具体的な取組内容	R5	令和5年度具体的な取組内容	めざす姿に向けた成果と課題
1	包括的な支援体制 の整備 ①②	福祉政策課	0	1	0	・5月30日地域福祉審議会菱沼委員、細貝委員、武田委員が市長と懇談「今後の鶴ヶ島の地域福祉について」 ・9月5日日本福祉大学原田正樹教授と市長及び副市長との意見交換会「鶴ヶ島市の包括的な支援体制づくりについて」 ・9月6日日本福祉大学原田正樹教授を講師に市民、地域福祉団体等向け地域福祉講演会を開催「地域共生社会の実現を目指して」	0	○包括的な支援体制に向けて 先進地視察実施 ・7月27日鳩山町視察 視察先：長寿福祉課/社会福祉協議会 参加課等：福祉政策課、障害者福祉課 健康長寿課、政策推進課 社会福祉協議会 参加者：10人 ・10月2日ふじみ野市視察 視察先：地域福祉課 参加課等：福祉政策課、社会福祉協議会 参加者：4人 ○包括的支援体制の構築に向けて ・10月18日関係課職員向け研修会の開催 「包括的な支援体制の構築に向けて ～総合相談・多機関連携 ・社協との協働について～」 講師：埼玉県地域ケア課 市町村総合相談支援体制構築 推進部会員兼アドバイザー 熊木シズ子氏 参加者 21人	○成果 先進地視察や研修会の実施などを経て、令和6年度は庁内を中心とする各相談支援機関のヒアリングを行い、包括的な支援体制の構築に向けた足場固めを行うことが出来た。 ○課題 社会福祉法に基づく重層的支援体制について、令和8年度に本格稼働させるため、引き続き関係機関の意識醸成や地域づくりのための取組を進めていく必要がある。
2	さまざまな活動主体 とのつながりをつくる 懇談会の実施回数 ③④	福祉政策課 社会福祉協議会	0	8	8 (156人)	・10月13日、14日、18日、19日に4会場に分けてオンライン（Zoom）と鶴二サロン・富士見自治会館では対面を併用して地域別懇談会を実施 （8小学校区でグループワーク） 参加者：延べ156名（地域支え合い協議会、民生委員・児童委員、地域包括支援センター等参加）	8 (138人)	○地域別懇談会を実施 ・8月9日(2回)、10日、22日の計4回開催 講師：菱沼幹男委員、高山恵理子委員 内容： グループワーク：8050問題について 参加者：延べ137名 （地域支え合い協議会、民生委員・児童委員等参加） ※地域包括支援センターエリアで開催 （8小学校区でグループワーク）	○成果 多くの参加者により、懇談会を実施することが出来た。 ○課題 これまで実施した形の他に、同じ活動を行う方による懇談会などを地域生活課題等についての視点を深めていく取組を検討していく必要がある。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

重点施策 包括的な支援体制づくり

★めざす姿 ⇒ 複雑化・複合化した課題の解決に向けた支援のために、支援を必要とする人（世帯や支援対象者）をさまざまな活動主体とともに包括的に支援する地域にします。

- ★実現に向けて
- ① 複雑化・複合化した課題に対応するため、各相談支援機関などの相互の有機的な連携により、包括的な支援体制づくりを推進します。
 - ② 地域包括ケアシステムを推進します。
 - ③ 地域生活課題を共有する場や地域福祉に関する要望を把握する場を設けます。
 - ④ さまざまな活動主体同士がつながる場を設けます。
 - ⑤ 地域の課題解決に取り組むため、コミュニティソーシャルワーカーの配置などを推進します。

★主な担当課におけるその他取組の状況

	担当課等	その他関連する事業とその状況
	福祉政策課 ①⑤	●重層的支援体制整備事業 包括的支援体制整備の核として、地域住民が相談先に迷うことなく相談・支援につながるができ、複合化・複雑化した地域生活課題に対応できる庁内及び地域体制を作る。令和7年度に試行し令和8年度から実施する予定。
	健康長寿課 ①②③④⑤	●地域包括ケアシステムの深化・推進 地域包括ケアシステムの中核的役割を担う地域包括支援センターの運営体制の充実・強化を図り、高齢者の総合相談や生活支援体制整備、認知症施策などを展開することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにする。
	障害者福祉課 ①⑤	●障害者相談支援事業 障害者支援協議会の実施などにより、相談支援機関等による連携の機会を作っている。
	こども支援課 ①⑤	●こども家庭センター相談支援事業 令和7年度から母子保健と児童福祉の両機能を統合したこども家庭センターを開設し、すべてのこども、妊産婦、子育て世帯に対して、一体的に相談支援を行う。
	保健センター ①⑤	●子育て世代包括支援センター連携会議 保健センター母子保健担当とこども支援課支援担当による連携会議を月1回実施。課題を抱えた子育て世帯に対する支援方針について検討している。
	地域活動推進課 ③④	●地域支え合い推進事業 小学校区単位程度を範囲として、自治会をはじめ、地域団体、NPOなどの市民活動団体や企業等、様々な主体とその関係者が連携・協力する地域支え合い協議会の支援を行っている。 ●市民協働推進事業 地域で活動している方が実行委員会を組織し、地域活動団体と地域デビューに関心がある方をつなぐ取組である「地域デビューきっかけ広場」を開催している。令和6年度は地域団体26団体参加 来場者約450人。
	社会福祉協議会 ①③④⑤	●ネットワーク型研修会の開催 権利擁護支援センターの取り組みとして、様々な主体による事例に基づいた研修会を実施している。令和5年度には、ヤングケアラーを課題にしたネットワーク研修を実施した。複雑化複合化した課題に取り組んでいる。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅰ 人と人がつながる地域づくり

I－1. 持続可能な地域づくりを支える人材育成

★めざす姿 ⇒ 「支え手」と「受け手」で分かれるのではなく、誰もが役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域にします。

- ★実現に向けて
- ⑥ 意欲のある人材の地域福祉活動への参加促進、継続および定着を図ります。
 - ⑦ 福祉教育・ボランティア活動支援を推進します。
 - ⑧ 地域福祉を担う人材の発掘の場をつくります。
 - ⑨ さまざまな地域福祉への参加提案をします

No.	実現に向けての主な目標	回答課	現状 (R2)	目標 (R8)	R4	令和4年度具体的な取組内容	R5	令和5年度具体的な取組内容	めざす姿に向けた成果と課題
3	健康づくりの 担い手の人数 ⑥	健康長寿課	137	201	139	介護予防ボランティア 67人 フレイルサポーター 18人 食生活改善推進員 54人 (R4.4.1現在)	145	介護予防ボランティア 71人 フレイルサポーター 27人 食生活改善推進員 47人 (R5.4.1現在)	○成果 各担い手を継続して養成するとともに、 フォローアップ研修会などを行い、活動意 欲の維持向上を図った。 ○課題 担い手数は、わずかながら増加しているも の、高齢や家族の介護等を理由に活動を やめる人の増加や、新規参加者が集まりに くいなど、担い手の確保に課題がある。
4	福祉教育・体験学習 推進校の活動件数 ⑦	社会福祉 協議会	60	70	55	・市内小中学校及び高等学校全校を 推進校に指定 ・2月27日西中学校3年生を対象に ヤングケアラー講演会を実施	64	・市内小中学校及び高等学校全校を 推進校に指定 ・7月18日鶴ヶ島清風高校全生徒を対象に ヤングケアラー講演会を実施 (オンライン)	○成果 コロナ禍の収束と共に、交流を行う学校が 増え市民講師と児童・学校との顔の見える 関係性づくりができた。 児童が地域で当事者講師に出会い、声掛 け・サポートをした出来事があり、共に生 きる学びへとつながった。ヤングケアラー 講演会を西中学校と清風高校で実施したこ とでヤングケアラーについて啓発できた。 ○課題 コロナ禍により学校と地域のつながりがな くなった地域について、再度交流が持てる ようにすることが課題。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅰ 人と人がつながる地域づくり

I－1． 持続可能な地域づくりを支える人材育成

★めざす姿 ⇒ 「支え手」と「受け手」で分かれるのではなく、誰もが役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域にします。

- ★実現に向けて
- ⑥ 意欲のある人材の地域福祉活動への参加促進、継続および定着を図ります。
 - ⑦ 福祉教育・ボランティア活動支援を推進します。
 - ⑧ 地域福祉を担う人材の発掘の場をつくります。
 - ⑨ さまざまな地域福祉への参加提案をします

★主な担当課におけるその他取組の状況

	担当課等	関連する事業とその状況
	福祉政策課 ⑥⑨	●社会福祉協議会活動支援事業 社会福祉協議会の本部運営や地域福祉事業に係る職員給与等を基準に補助金を交付するとともに、市社協と常に情報共有を図りながら、協働して地域づくりを進めている。
	健康長寿課 ⑧⑨	●生活支援体制整備 高齢者が地域とつながりや生きがいを持ちながら暮らしていくために、包括的支援体制の構築に向けて、個別支援から地域支援まで一体的な取り組みを検討した。
	障害者福祉課 ⑨	●障害者支援体制整備事業 障害者交流フェスティバルの開催や障害者団体の支援など、障害のある人に対する理解、啓発を促進し、地域における支援体制の充実を図っています。
	こども支援課 ⑨	●ファミリー・サポート・センター運営事業 育児援助を行いたい人と受けたい人を会員として組織し、地域における会員同士の育児に関する相互援助活動を支援している。
	保健センター ⑨	●ゆりかご教室（両親学級）／産前産後サポート事業／もぐもぐ教室（離乳食教室） 主任児童委員の協力があり、意欲的に地域の親子を支援していただいている。参加者からは「こどもの成長を一緒に見守ってくれている感じがして嬉しい」と好評である。
	地域活動推進課 ⑥⑧	●地域支え合い推進事業（再掲） 小学校区単位程度を範囲として、自治会をはじめ、地域団体、NPOなどの市民活動団体や企業等、様々な主体とその関係者が連携・協力する地域支え合い協議会の支援を行っている。 ●市民協働推進事業（再掲） 地域で活動している方が実行委員会を組織し、地域活動団体と地域デビューに関心がある方をつなぐ取組である「地域デビューきっかけ広場」を開催している。令和6年度は地域団体26団体参加 来場者約450人。
	学校教育課 ⑦	●福祉教育・体験学習推進校等指定事業審査会への参加 ●福祉教育・体験学習推進校等成果報告会への参加 ●市内小学校8校・中学校5校が鶴ヶ島市福祉教育・体験学習推進校等指定事業に参加
	生涯学習スポーツ課 ⑦	●文化活動支援事業 鶴ヶ島市文化団体連合会に補助金を交付するとともに、活動を支援しながら、市民の文化・芸術活動による地域づくりを進めています。
	社会福祉協議会 ⑥⑦⑧⑨	●互助の仕組みのコーディネート 地域を知っている人（地域活動者）から地域の人材を紹介してもらうことや地域の人同士が声を掛け合える関係づくりの支援を行っている。 ●学校との連携でサービスラーニング 学校の福祉教育授業で行った後に、チラシを配布したり授業で直接話すことで子ども達へ地域福祉への参加を呼びかけている。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅰ 人と人がつながる地域づくり

I－2. 地域での居場所づくり

★めざす姿 ⇒ 身近な地域で、多世代が気軽に交流でき、相談できる居場所や拠点がたくさんある地域にします。

- ★実現に向けて
- ⑩多世代・多文化のふれあい、交流ができる居場所づくりの促進を図ります。
 - ⑪居場所の立ち上げや運営支援を行います。
 - ⑫さまざまな拠点づくりを推進します。
 - ⑬地域活動に参加できない方などに向けてのアウトリーチの手法を活用した取り組みを行います。

No.	実現に向けての主な目標	回答課	現状 (R2)	目標 (R8)	R4	令和4年度具体的な取組内容	R5	令和5年度具体的な取組内容	めざす姿に向けた成果と課題
5	ふれあい・いきいき サロン登録団体数 ⑩	社会福祉 協議会	78	90	75	継続的に活動している団体に助成金を出したり、保険加入を行っている。自分たちの地域で集いの場をつくるきっかけとして、ふれあい・いきいきサロン説明会・代表者会議を実施。	81	継続的に活動している団体に助成金を出したり、保険加入を行っている。自分たちの地域で集いの場をつくるきっかけとして、ふれあい・いきいきサロン説明会・代表者会議を実施。	○成果 サロンの活動場所が、目標の90箇所を超えた。特に健康づくりを主とした体操のサロンが増えた。 ○課題 サロンスタッフの高齢化と担い手不足があり、企業の定年が伸びたことから高齢になっても働いている人が多いことが要因と考えている。男性の参加者が少ない。
6	子どもサロン 開催拠点数 ⑪	地域活動 推進課	7	8	7	鶴ヶ島第一小学校を除く7小学校区において、子どもサロンを開催	7	市内7か所の地域支え合い協議会で、宿題サロンなどの子どもサロンを実施。	○成果 7小学校区における開催を維持することができている。 ○課題 これまで、鶴ヶ島第一小学校区での開催がなかったが、令和7年度に事業の開始が見込まれている。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅰ 人と人がつながる地域づくり

I－2. 地域での居場所づくり

★めざす姿 ⇒ 身近な地域で、多世代が気軽に交流でき、相談できる居場所や拠点がたくさんある地域にします。

- ★実現に向けて
- ⑩多世代・多文化のふれあい、交流ができる居場所づくりの促進を図ります。
 - ⑪居場所の立ち上げや運営支援を行います。
 - ⑫さまざまな拠点づくりを推進します。
 - ⑬地域活動に参加できない方などに向けてのアウトリーチの手法を活用した取り組みを行います。

★主な担当課におけるその他取組の状況

	担当課等	関連する事業とその状況
	福祉政策課 ⑩⑪⑫⑬	●社会福祉協議会活動支援事業（再掲） 社会福祉協議会の本部運営や地域福祉事業に係る職員給与等を基準に補助金を交付するとともに、市社協と常に情報共有を図りながら、協働して地域づくりを進めている。
	健康長寿課 ⑩⑪⑫⑬	●市民主体の介護予防活動の場の支援 市民センターや自治会館など、地域の身近な場所で「市民主体の介護予防活動の場」を立ち上げる自主グループを支援するとともに、介護予防ボランティアの派遣などを通じて、活動の継続支援も行っている。
	障害者福祉課 ⑩⑪⑫⑬	●障害者施設等支援事業 障害者生活介護施設きいちごや福祉喫茶コーナー等の活動を支援し、障害者がで安心して生活できる地域づくりを行っています。
	こども支援課 ⑩⑪⑫⑬	●上広谷・西・大橋・脚折児童館運営事業／つどいの広場運営事業／子育て支援施設運営事業 地域におけるこどもの居場所や子育て親子の交流の場を通じて、身近な地域でこどもや子育てを見守り、支え合う取組を推進している。 市内4か所の児童館と6か所の地域子育て支援拠点を設置している。
	保健センター ⑩⑪⑫⑬	●産前産後サポート事業（親子交流サロン） 双子・外国籍・発達の心配がある子・外出や人づきあいが苦手等、地域で孤立しやすい親子を対象として定期的に開催。市民からはサロンが外出するきっかけになったり、コミュニケーションが苦手だったがサロンに参加して自信がついたり、子育てなど共感できて良かったと話していたり、主任児童委員や職員が子育てを一緒に見守ってくれているようで嬉しいとの声がある。
	地域活動推進課 ⑩⑪⑫	●地域支え合い推進事業（再掲） 小学校区単位程度を範囲として、自治会をはじめ、地域団体、NPOなどの市民活動団体や企業等、様々な主体とその関係者が連携・協力する地域支え合い協議会の支援を行っている。 地域支え合い協議会における新規事業⇒西部：こども食堂、鶴二：ガーデンパーク運営部会
	生涯学習スポーツ課 ⑩⑪⑫	●図書館運営事業 市民の多種多様な学習要求や課題解決に応える「知の情報拠点」として有益な情報を提供しながら、市民が交流できる居場所づくりを行っている。
	社会福祉協議会 ⑩⑪⑫⑬	●サロン活動者にむけた地域のつながりの必要性を意識する研修会を実施 ●「つどいの場一覧」等を各事業所、自治会等に周知し、参加の促し ●あらゆる機会をとおして、参加のきっかけづくり ●西部支え合い協議会と企業が主体となった空き家を活用した居場所づくりを支援

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅰ 人と人がつながる地域づくり

I－3. わかりやすい情報発信とつながりづくり

★めざす姿 ⇒ 地域の情報を広く発信することで、地域活動、地域の行事、市民活動などに参加する市民が増え、市民同士のつながりが強い地域にします。

- ★実現に向けて
- ⑭さまざまな地域福祉活動参加へのきっかけづくりに取り組みます。
 - ⑮わかりやすい情報提供の充実を図ります。
 - ⑯さまざまな参加方法の充実を図ります。
 - ⑰地域への広報活動への協力や支援を行います。

No.	実現に向けての主な目標	回答課	現状 (R2)	目標 (R8)	R4	令和4年度具体的な取組内容	R5	令和5年度具体的な取組内容	めざす姿に向けた成果と課題
7	つるがしま 地域づくり便り「えん」 発行部数 ⑭	社会福祉 協議会	3,600 /年	10,800 /年	11,000 /年	年11回発行 ここつなネットの対象者及び協力者、地域のサロン等に配布	12,000 /年	年11回発行 ここつなネットの対象者及び協力者、地域のサロン等に配布	○成果 学校の協力を得て、こども達から対象者支援者に直接渡すことができている。定期的な配布により、つながりが強まった。また、地域のつながりなどについて多くの人に伝えられた。 ○課題 配布予定の人に届かないことがしばしばある。事務的な作業も膨大になっている。 令和6年度発行部数12,000/年
8	市公式SNS※の登録者数 (年度末時点) ⑮	秘書広報課	8,597 /年度末	25,000 /年度末	24,631 /年度末	Twitter 9,167人 LINE 14,223人 Facebook 1,241人	25,770 /年度末	X(旧Twitter) 9,334人 LINE 15,163人 Facebook 1,273人	○成果 目標数値を達成している。 ○課題 多くの人に情報を届けられるようになった。今後は興味をもってもらえるよう発信内容に工夫が必要である。

※ X(旧Twitter)、LINEなど

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅰ 人と人がつながる地域づくり

I－3. わかりやすい情報発信とつながりづくり

★めざす姿 ⇒ 地域の情報を広く発信することで、地域活動、地域の行事、市民活動などに参加する市民が増え、市民同士のつながりが強い地域にします。

- ★実現に向けて
- ⑭さまざまな地域福祉活動参加へのきっかけづくりに取り組みます。
 - ⑮わかりやすい情報提供の充実を図ります。
 - ⑯さまざまな参加方法の充実を図ります。
 - ⑰地域への広報活動への協力や支援を行います。

★主な担当課におけるその他取組の状況

	担当課等	関連する事業とその状況
	福祉政策課 ⑮⑯⑰	●第3次地域福祉計画の発信 「つる🍃ほっとプラン」という愛称やイラストを用いた構成、概要版の作成などにより、市民の目に触れやすい、意図が伝わりやすい発信を行っている。
	健康長寿課 ⑮⑯⑰	●各種事業の情報発信 健康づくりや介護予防等の各種事業の周知は、市の広報やホームページに掲載するとともに、鶴ヶ島市公式アプリ「つるポッケ」やチラシ等により発信している。 ●高齢者のデジタル活用支援 スマホ教室やデジタル支援員による「スマホの活用支援」により、デジタルデバインド（情報格差）の解消に努めている。
	障害者福祉課 ⑮⑯⑰	●障害者支援体制整備事業（再掲） 障害者交流フェスティバルの開催や障害者団体の支援など、障害のある人に対する理解、啓発を促進し、地域における支援体制の充実を図っています。
	こども支援課 ⑮⑯⑰	●公民連携による「子育てガイドブック」の制作と配布 市と民間事業者との連携により、市の子育て情報をまとめた「子育てガイドブック」を毎年制作し、こどもが生まれた家庭や転入した子育て家庭等に配布している。
	保健センター ⑮⑯⑰	●鶴ヶ島市公式アプリ「つるポッケ」の子育てカレンダーに事業を掲載
	秘書広報課 ⑮	
	地域活動推進課 ⑭⑮⑰	●市民協働推進事業（再掲） 地域で活動している方が実行委員会を組織し、地域活動団体と地域デビューに関心がある方をつなぐ取組である「地域デビューきっかけ広場」を開催している。令和6年度は地域団体26団体参加 来場者約450人。
	社会福祉協議会 ⑭⑮⑯⑰	●SNSを活用した多世代への発信 ●あらゆる場面で地域福祉活動の情報を直接または間接的に伝え、市民が選択して活動に参加できる仕組みづくり ●地域共生社会をテーマにした4コマ漫画を作成し、関係者に配布

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅱ 地域生活課題を受けとめ支え合う仕組みづくり

Ⅱ－１． 見守り、支え合いの推進

★めざす姿 ⇒ 地域住民や社会福祉法人、民間事業者などのさまざまな形の見守りのネットワークがつくられ、重なり、隙間なく広がることで、お互いに顔が見える関係が深まり、見守りや手助けし合える輪ができる地域にします。

- ★実現に向けて
- ⑱身近な地域でのさまざまな見守り方法を提案します。
 - ⑲地域住民の支え合いの取り組みの充実を図ります。
 - ⑳住民主体の生活支援活動を推進します。
 - ㉑自治会や地域支え合い協議会の取り組みを支援します。
 - ㉒各地域の実情や特性に応じた、課題解決の支援を提案します。

No.	実現に向けての主な目標	回答課	現状 (R2)	目標 (R8)	R4	令和４年度具体的な取組内容	R5	令和５年度具体的な取組内容	めざす姿に向けた成果と課題
9	心と心をつなげる ネットワーク 活動個別チーム数 ⑱⑲	社会福祉協議会	1	250	284	・7月21日、22日、24日、27日 ここつなネット交流会実施。 チームメンバーが集まり交流・情報 交換等を行った。 ・チームメンバーカードの作成（チーム の写真と連絡先をチームメンバーへ 配布）	405	・12月18日活動をより豊かにしていくこと を目的に、コーディネーター研修を実施。2 ～3月にかけて8回市内小中学校において、 振り返りの会を実施。	○成果 大人だけでなくこどもの参加も増え、多世 代によるチームづくりができた。チームを 作ったことでチームのメンバーに緊急事態 が発生したときの対応にもつながり、安心 して暮らせる地域づくりにつながった。令 和7年2月末実績 510チーム（累計582チー ム） ○課題 情報更新の事務が膨大になりつつあり、シ ステム化を進める必要がある。チームの把 握が担当者以外では難しくなっている。 避難行動要支援者名簿に記載されている人 のメンバー登録が少ない。
10	ふれあいサービス (住民同士の生活支援) の活動時間数 (時間／年) ⑳	社会福祉協議会	3, 113	3, 500	4, 194	・利用会員177人・協力会員125人 ・10月1日・10月15日傾聴研修実施 11月9日自筆証書遺言研修実施 ・2月20日ケアマネージャーの役割と 介護保険	3934. 5	・利用会員172人・協力会員122人 ・協力会員向け研修会 7月2日認知症の理解 9月28日人生会議等 2月9日お掃除野基本 ・11月29日、1月26日協力会員連絡会実施	○成果 家事支援活動を通じて住民同士の助け合い に繋がっている。研修会では、活動時に役 立つ家事や支援に関する内容に加え、協力 会員自身や家族の今後に生きるものとなっ ている。また心と心をつなげるネットワー ク活動（ここつな）を会員に紹介し、メン バーととして加わることで地域のつながり の強化につながっている。 ○課題 協力会員の高齢化、協力会員数も横ばい、 活動していない人も多く、一人の協力会員 に複数の活動が集中する傾向がある。多様 なニーズに応じた支援を提供するため、地 域の活動者を増やすにはどうしたらよいか 検討する必要がある。また、介護保険の サービスを利用するまでのつながりが増え、 会員同士の関係性を培っていく継続的な支 援とまではいかないケースも増えている。 必要な手続きは変わらず発生するため、 コーディネーターの負担増がみられる。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅱ 地域生活課題を受けとめ支え合う仕組みづくり

Ⅱ－１． 見守り、支え合いの推進

- ★めざす姿 ⇒ 地域住民や社会福祉法人、民間事業者などのさまざまな形の見守りのネットワークがつくられ、重なり、隙間なく広がることで、お互いに顔が見える関係が深まり、見守りや手助けし合える輪ができる地域にします。
- ★実現に向けて
- ⑱身近な地域でのさまざまな見守り方法を提案します。
 - ⑲地域住民の支え合いの取り組みの充実を図ります。
 - ⑳住民主体の生活支援活動を推進します。
 - ㉑自治会や地域支え合い協議会の取り組みを支援します。
 - ㉒各地域の実情や特性に応じた、課題解決の支援を提案します。

★主な担当課におけるその他取組の状況

	担当課等	関連する事業とその状況
	福祉政策課 ⑲⑳	●民生委員・児童委員活動支援事業 委員の活動費や協議会の運営などについて支援を行っている。 委員の活動をわかりやすく紹介する資料を作成し、自治会等に配布するなど、委員の確保に向けた取組や、参加しやすい会議や研修の検討といった活動しやすい環境整備などについて取り組んでいる。
	健康長寿課 ⑱⑲⑳	●鶴ヶ島市見守りネットワークの構築 高齢者に限定せず、こどもや障害者など、すべての市民の見守りについて、この事業の趣旨に賛同・協力してくださる事業者や団体の登録を受け、「鶴ヶ島市見守りネットワーク」を構築している。 ●第1層生活支援体制推進協議会の開催 住民主体の「互助」による助け合い活動を推進するため、地域の多様なメンバーによる話し合いの場として、第1層生活支援体制推進協議会を開催している。 ●第2層生活支援コーディネータの設置 地域包括支援センターに第2層生活支援コーディネーターを置き、自治会や地域支え合い協議会等と連携し、社会資源の発掘等を行い、地域の課題解決に向けて取り組む体制を整備している。 ●つるほっとベンチの取組 コミュニティづくりと外出支援を目的とし、ベンチを置きたい人と提供できる人のマッチングを行う「つるほっとベンチプロジェクト」を市ＨＰ及びチラシにて周知している。
	こども支援課 ㉑	●子どもの貧困対策活動支援事業 支援が必要な家庭に、食支援等を行う活動を支援し、地域の見守りの支援にもつながっている。関係機関や関係団体と情報共有を図りながら協働を推進している。
	地域活動推進課 ⑱⑲⑳㉑㉒	●地域支え合い推進事業（再掲） 小学校区単位程度を範囲として、自治会をはじめ、地域団体、ＮＰＯなどの市民活動団体や企業等、様々な主体とその関係者が連携・協力する地域支え合い協議会の支援を行っている。地域支え合い協議会の事業では特に「助け合い隊」が該当する。 ●コミュニティ活動推進事業 各自治会長を会員とする鶴ヶ島市コミュニティ協議会及び自治会の支援を行っている。
	社会福祉協議会 ⑱⑲⑳㉑	●地域の方からの情報をキャッチし個別チームの輪を拡大 ●様々な事業を通し連携を取り「ここつなメンバー」のネットワークを広げる。 ●地域支え合い協議会や自治会等地縁組織へ、ここつなネットと連携した見守りの仕組みを提案している。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅱ 地域生活課題を受けとめ支え合う仕組みづくり

Ⅱ－２． 地域で相談し合える仕組みづくり

★めざす姿 ⇒ さまざまな活動主体や民生委員・児童委員などが中心となって、地域住民からの相談を受け、市の関係課や地域包括支援センターなどの関係機関につなぐ地域にします。

- ★実現に向けて
- ㊸民生委員・児童委員への活動支援を行います。
 - ㊹地域支え合い協議会などの市民活動団体や社会福祉法人が中心となった相談し合える関係づくりを支援します。
 - ㊺身近に相談できる人の人材育成に取り組みます。
 - ㊻地域住民同士で生活課題を共有する場をつくれます。

No.	実現に向けての主な目標	回答課	現状 (R2)	目標 (R8)	R4	令和４年度具体的な取組内容	R5	令和５年度具体的な取組内容	めざす姿に向けた成果と課題
11	民生委員・児童委員 の活動件数（件／年） ㊸	福祉政策課	6,460	10,000	10,378	民生委員・児童委員が年間を通じて高齢者世帯等への訪問や委員同士や関係機関との連絡調整を行った。	10,848	民生委員・児童委員が年間を通じて高齢者世帯等への訪問や委員同士や関係機関との連絡調整を行った。	○成果 委員の活動に対する必要な情報提供や助言、協議会の運営支援等により、民生委員・児童委員の活動を支援した。 ○課題 継続的な委員の担い手不足が大きな課題となっている。 民生委員・児童委員の担い手確保と活動の支援に向けた取組を拡大していくことが必要である。
12	社会福祉法人などの 地域住民向けの 相談窓口の設置 ㊹	福祉政策課 社会福祉協議会	0	3	0	社会福祉協議会において、社会福祉法人連絡会を2回開（1月23日、3月6日）連絡会実施	0	社会福祉協議会において、社会福祉法人連絡会を3回開催（5月、7月、3月） 社会福祉法人宗徳会 高齢者総合ケアセンター（ふじみ野市）の取組を視察	○成果 社会福祉法人のみならず、地域の福祉関係施設と連絡会を実施することにより、市内の関係施設の連携がとれた。福祉関係施設連絡会では、施設運営の課題について共有したり、情報交換を行うことができた。 ○課題 今後、地域の福祉の相談窓口として実施するにあたり、人材確保の問題や質の確保が課題である。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅱ 地域生活課題を受けとめ支え合う仕組みづくり

Ⅱ－２． 地域で相談し合える仕組みづくり

★めざす姿 ⇒ さまざまな活動主体や民生委員・児童委員などが中心となって、地域住民からの相談を受け、市の関係課や地域包括支援センターなどの関係機関につなぐ地域にします。

- ★実現に向けて
- ㊸民生委員・児童委員への活動支援を行います。
 - ㊹地域支え合い協議会などの市民活動団体や社会福祉法人が中心となった相談し合える関係づくりを支援します。
 - ㊺身近に相談できる人の人材育成に取り組みます。
 - ㊻地域住民同士で生活課題を共有する場をつくります。

★主な担当課におけるその他取組の状況

	担当課等	関連する事業とその状況
	福祉政策課 ㊸㊹㊺㊻	●民生委員・児童委員活動支援事業（再掲） 委員の活動費や協議会の運営などについて支援を行っている。 委員の活動をわかりやすく紹介する資料を作成し、自治会等に配布するなど、委員の確保に向けた取組や、参加しやすい会議や研修の検討といった活動しやすい環境整備などについて取り組んでいる。
	健康長寿課 ㊸㊹㊺	●地域包括支援センターの充実・強化 地域包括ケアシステムの中核的役割を担う地域包括支援センターの運営体制の充実・強化を図り、高齢者の総合相談や生活支援体制整備、認知症施策などを展開することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにする。 また、民生委員児童委員の会議に出席し、顔の見える関係を作っている。 ●第1層生活支援体制推進協議会及び第2層協議会の開催 住民主体の「互助」による助け合い活動を推進するため、地域の多様なメンバーによる話し合いの場として、第1層生活支援体制推進協議会を開催している。また、各圏域において、第2層協議会を開催している。
	障害者福祉課 ㊸㊹㊺	●自殺対策推進事業 令和6年度のゲートキーパー研修を民生委員を対象に実施。 民生委員・児童委員による訪問活動等に活用できる情報を得る機会を提供した。
	こども支援課 ㊸㊹㊺	●ファミリー・サポート・センター運営事業（再掲） 育児援助を行いたい人と受けたい人を会員として組織し、地域における会員同士の育児に関する相互援助活動を支援している。
	保健センター ㊸㊹㊺	●主任児童委員との情報交換の実施 年1回程度、市の母子保健の現状と課題を共有している。また、母子保健事業に参加していただいている。親子の交流サロンに参加した主任児童委員からは、こどもたちのそれぞれの成長が見れて楽しい、元気がもらえるとの声がある。親子の交流サロンでつるがしま郷土かるたを行った時に、主任児童委員の方がかるたにまつわる地域の情報を説明してくれて、コミュニケーションが苦手な市民も話が盛り上がり楽しい時間を過ごせた。
	地域活動推進課 ㊸㊹㊺㊻	●地域支え合い推進事業（再掲） 小学校区単位程度を範囲として、自治会をはじめ、地域団体、NPOなどの市民活動団体や企業等、様々な主体とその関係者が連携・協力する地域支え合い協議会の支援を行っている。地域支え合い協議会の事業では特に「助け合い隊」が該当する。
	社会福祉協議会 ㊸㊹㊺㊻	●相談し合う関係づくり ふれあい・いきいきサロンやここつなネットの中でリーダー的な方やお互いが相談し合える意識や役割をつくっている。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅱ 地域生活課題を受けとめ支え合う仕組みづくり

Ⅱ－3. 地域福祉ネットワークの強化

★めざす姿 ⇒ 地域住民やさまざまな活動主体、市、社会福祉協議会など、多様な役割を果たすそれぞれの活動主体が連携・協働し、地域生活課題を把握する仕組みがある地域にします。

- ★実現に向けて
- ②⑦さまざまな活動主体や市、社会福祉協議会がつながる場をつくります。
 - ②⑧社会福祉協議会や地域包括支援センターとの連携・支援を通じて、さまざまな活動主体のネットワーク強化を後押しします。

No.	実現に向けての主な目標	回答課	現状 (R2)	目標 (R8)	R4	令和4年度具体的な取組内容	R5	令和5年度具体的な取組内容	めざす姿に向けた成果と課題
13	権利擁護に関する 中核機関による 地域連携ネットワーク の設置 ②⑦②⑧	健康長寿課 社会福祉 協議会	0	1	1	権利擁護支援センター (社会福祉協議会委託)	1	権利擁護支援が必要な方に対し、総合的かつ専門的な相談支援を行うことが出来た。	○成果 成年後見制度の周知啓発を図ることができ、相談窓口が明確化することで、市民の利便性が向上した。 成年後見利用促進協議会の実施により、弁護士、司法書士、社会福祉士、民生委員等による権利擁護ネットワークを構築することができた。また、成年後見制度に関わる専門職との連携ネットワーク学習会、定期的な連絡会を実施することにより、様々なネットワークが構築できた。 ○課題 権利擁護ネットワークの拡大が必要である。また、市民後見人養成講座の修了者の活躍の場が少ない。家庭裁判所から市民後見人として選任され、活動できるよう支援するとともに、さらなる活動の場を創出していく必要がある。 さらに、任意後見制度を含めた成年後見制度の普及啓発や地域連携ネットワークのさらなる推進に取り組んでいく必要がある。
14	障害者支援 ネットワーク協議会 の団体数 ②⑧	障害者 福祉課	21	30	34	支援会員：団体5・施設6 会員：団体13・施設10	31	支援会員：団体6・施設4 会員：団体11・施設10	○成果 余暇活動・交流フェスティバルなど対面でのイベントがほぼコロナ前のような形で実施ができ、直接的な連携・協働に繋がった。また、障害者週間にあわせて、障害者交流フェスティバルの開催や市役所ロビー展示等を実施し、障害者理解の推進を図った。 ○課題 活動を終了したボランティア団体があり、団体数が減少した。また、人数の減少が活動の縮小に繋がらないよう、団体の活性化に繋がる取組が必要である。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅱ 地域生活課題を受けとめ支え合う仕組みづくり

Ⅱ－3. 地域福祉ネットワークの強化

★めざす姿 ⇒ 地域住民やさまざまな活動主体、市、社会福祉協議会など、多様な役割を果たすそれぞれの活動主体が連携・協働し、地域生活課題を把握する仕組みがある地域にします。

- ★実現に向けて
- ㉗さまざまな活動主体や市、社会福祉協議会がつながる場をつくります。
 - ㉘社会福祉協議会や地域包括支援センターとの連携・支援を通じて、さまざまな活動主体のネットワーク強化を後押しします。

★主な担当課におけるその他取組の状況

	担当課等	関連する事業とその状況
	福祉政策課 ㉗㉘	●地域別懇談会の開催 地域課題を共有する場及び様々な活動主体がつながる場として地域別懇談会を開催してきた。令和6年度は様々な活動主体の会議の場に参加したり、個別に聞き取りを行う形をとった。
	健康長寿課 ㉗㉘	●市と社会福祉協議会との連携 市や地域包括支援センターは、権利擁護支援や生活支援体制整備、認知症施策等において、社会福祉協議会と連携して事業を展開している。
	障害者福祉課 ㉗㉘	●障害者相談支援事業（再掲） 障害者支援協議会の実施などにより、相談支援機関等による連携の機会を作っている。
	こども支援課 ㉗㉘	●要保護児童対策地域協議会の運営 児童虐待問題に対応するため、児童福祉、保健医療、教育、人権、警察等の関係機関が連携し、こどもや家族への援助の方法や対策を協議し対応している。 各機関の代表者による会議を年1回、実務者による会議を月1回開催。
	保健センター ㉗㉘	●福祉関係機関との連携 障害者支援協議会の委員として参加。 母子保健の相談支援において、高齢者に関する問題を認知した場合に、地域包括支援センターと連携し支援を行っている。
	社会福祉協議会 ㉗㉘	●福祉関係施設連絡会および高齢者施設連絡会 定期的に開催されているため、分野を横断したつながる場づくりができています。 ●生活支援体制整備事業 市内4つの地域包括支援センターと社協が連携して、それぞれの地域の課題を設定し、居場所づくり、サロン交流等を進めている。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅲ 安心して暮らせるまちの地域包括支援体制づくり

Ⅲ－１． 庁内の横断的な支援体制の強化

★めざす姿 ⇒ 既存の相談支援などの取り組みを活かしつつ、地域住民のさまざまな支援ニーズに対して包括的に取り組める地域にします。

★実現に向けて

②⑨さまざまな活動主体や市、社会福祉協議会が連携できる環境づくりとして事業者や職員向けの研修や事例検討会を実施します。

③⑩新たに各部課を横断した支援について検討する会議を設置します。

③⑪各部課をコーディネートする仕組みをつくります。

No.	実現に向けての主な目標	回答課	現状 (R2)	目標 (R8)	R4	令和４年度具体的な取組内容	R5	令和５年度具体的な取組内容	めざす姿に向けた成果と課題
15	包括的な支援体制に関する研修会や事例検討会の開催回数 ②⑨	福祉政策課 社会福祉協議会	1	4	4	・7月21日、8月29日地域連携ネットワーク構築連続学習会（事例検討）実施 ・9月5日職員向け研修会の実施 「地域共生社会の実現にむけて行政職員・専門職に求められていること」 ・2月14日川越市社会福祉協議会成年後見センター協議会および運営委員会視察（2名）	2	・5月9日、12月5日地域連携ネットワーク構築連続学習会（事例検討）実施 「意思決定支援とチームアプローチの事例検討」 講師：日本司法支援センター本部シニア常勤弁護士 水島俊彦氏 参加者：のべ80人	○成果 地域連携ネットワークの学習会を継続的に 行い、多様な連携のありようを学び合う ことができている。 ○課題 重層的支援体制の具体的な構築に合わせた 研修会や事例検討のあり方を検討していく 必要がある。
16	包括的な支援体制構築のための会議に参加した関係部署、関係機関数 ③⑩	福祉政策課	8	13	6	・11月17日、12月23日 鶴ヶ島版包括的な支援体制構築検討会 を実施 参加関係課：福祉政策課、障害者福祉課、こども支援課、健康長寿課 ・2月17日 川越市民サービスステーション（福祉総合相談窓口）視察 参加関係課等：福祉政策課、障害者福祉課、こども支援課、健康長寿課、政策推進課、社会福祉協議会	7	・10月18日関係課職員向け研修会の開催 参加関係課等：福祉政策課、障害者福祉課、こども支援課、健康長寿課、政策推進課、社会福祉協議会、地域包括支援センター 参加者数：21人	○成果 令和５年度までの取組を踏まえ、令和６年度は機関ごと個別にヒアリングを行い、包括的な支援体制の構築に向けた課題等の共有を図ることができた。 ○課題 人事異動等による影響も加味し、引き続き構築を行う目的などについて共有を図っていく必要がある。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅲ 安心して暮らせるまちの地域包括支援体制づくり

Ⅲ－１． 庁内の横断的な支援体制の強化

★めざす姿 ⇒ 既存の相談支援などの取り組みを活かしつつ、地域住民のさまざまな支援ニーズに対して包括的に取り組める地域にします。

- ★実現に向けて
- ②9さまざまな活動主体や市、社会福祉協議会が連携できる環境づくりとして事業者や職員向けの研修や事例検討会を実施します。
 - ③0新たに各部課を横断した支援について検討する会議を設置します。
 - ③1各部課をコーディネートする仕組みをつくります。

★主な担当課におけるその他取組の状況

	担当課等	関連する事業とその状況
	福祉政策課 ②9③0③1	●重層的支援体制整備事業（再掲） 包括的支援体制整備の核として、地域住民が相談先に迷うことなく相談・支援につながることができ、複合化・複雑化した地域生活課題に対応できる庁内及び地域体制を作る。令和7年度に試行し令和8年度から実施する予定。
	健康長寿課 ②9③0③1	●多職種連携による研修会の開催 坂戸鶴ヶ島医師会に委託し、医療・介護・福祉の専門職や地域住民代表、行政等による多職種連携による研修会を行い、顔の見える関係の構築に努めた。
	障害者福祉課 ②9③0③1	●障害者相談支援事業（再掲） 障害者支援協議会の実施などにより、相談支援機関等による連携の機会を作っている。
	こども支援課 ②9③0③1	●こども家庭センター相談支援事業（再掲） 令和7年度から母子保健と児童福祉の両機能を統合したこども家庭センターを開設し、すべてのこども、妊娠婦、子育て世帯に対して、一体的に相談支援を行う。
	保健センター ②9③0③1	●保健所の支援による事例検討会の実施 母子保健における困難事例について、保健所の支援による事例検討会を行い、県立精神医療センター医師と保健所精神保健担当と有意義な検討会ができた。
	社会福祉協議会 ②9③0③1	現在行っている様々な会議を集約連携することにより、相乗効果を生みだす取組を行っている。権利擁護の研修と地域福祉の研修を合同で行った。 個別支援会議から地域課題を浮き彫りにし、その解決を地域住民と一緒に取り組む仕組みの確立を目指している。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅲ 安心して暮らせるまちの地域包括支援体制づくり

Ⅲ－２． いきいきと暮らせるまちづくり

★めざす姿 ⇒ お互いに得意不得意、事情や文化の違いを理解し合い、支え合うことで誰もが安心して暮らせる地域にします。

- ★実現に向けて
- ③②個人の状況や特性に応じた自立や働き方への支援をします。
 - ③③健康づくりと介護予防・フレイル予防に取り組みます。
 - ③④生活困窮者などへの支援に取り組みます。
 - ③⑤成年後見制度の利用促進を始め権利擁護活動や虐待防止などに取り組みます。

No.	実現に向けての主な目標	回答課	現状 (R2)	目標 (R8)	R4	令和４年度具体的な取組内容	R5	令和５年度具体的な取組内容	めざす姿に向けた成果と課題
17	障害者や生活困窮者の 新規一般就労者数 ③②	障害者 福祉課 社会福祉 協議会	48	50	38	ふるさとハローワークの就労ナビゲーターとの定期的な情報交換の実施。12月7日合同企業面接会、3月13日埼玉県お仕事相談会に参加。市内企業を中心にした個別企業開拓を積極的に行い、雇用機会の増進に努めた。	33	ふるさとハローワーク、近隣就労支援センター他等との情報交換及び連携による支援の実施。地域就労支援連携体制推進協議会の参加、市と近隣地域への積極的な企業開拓により、雇用機会の創出に努めた。	○成果 ハローワーク、近隣就労支援センターなどとの連携や情報交換、地域就労支援連携協議会への参加に加え、市内外の合同面接会の積極的な参加や他就職媒体も利用した近隣地域での企業開拓も行い、雇用機会の増加につながった。 ○課題 セカンドキャリア、高齢者向け求人の開拓。精神障害者向けの短時間求人の開拓。（法定雇用率の引き上げ緩和のため）
18	65歳からの健康寿命 ③③	健康長寿課	(R1) 男性 17. 87 女性 20. 64	(R6) 男性 18. 63 女性 21. 38	(R2) 男性17. 87 女性20. 83	ウォーキング、ラジオ体操などの健康づくり運動の他、フレイル予防対策、食育推進、介護予防等の各種事業を実施し、健康寿命の延伸に努めた。	(R3) 男性18. 03 女性21. 08	ウォーキング、ラジオ体操などの健康づくり運動の他、フレイル予防対策、食育推進、介護予防等の各種事業を実施し、健康寿命の延伸に努めた。	○成果 埼玉県コバトン健康マイレージを活用し、ウォーキングに取り組む人を増加させるなど、各種取組を総合的に実施した結果、男性、女性ともに健康寿命は延びており、市民の健康増進が図られた。 ○課題 急速な少子高齢化が予測される中で、健康寿命を延伸するには、健康無関心層や壮年世代への健康づくり習慣の定着化が課題である。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅲ 安心して暮らせるまちの地域包括支援体制づくり

Ⅲ－２． いきいきと暮らせるまちづくり

★めざす姿 ⇒ お互いに得意不得意、事情や文化の違いを理解し合い、支え合うことで誰もが安心して暮らせる地域にします。

- ★実現に向けて
- ㊼個人の状況や特性に応じた自立や働き方への支援をします。
 - ㊽健康づくりと介護予防・フレイル予防に取り組みます。
 - ㊾生活困窮者などへの支援に取り組みます。
 - ㊿成年後見制度の利用促進を始め権利擁護活動や虐待防止などに取り組みます。

★主な担当課におけるその他取組の状況

	担当課等	関連する事業とその状況
	福祉政策課 ㊼㊽㊾㊿	●生活困窮者等自立支援事業 生活困窮者等に対して、学習支援事業、住居確保給付金、自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業、被保護者就労準備支援事業の各事業を実施し、困窮状態からの自立を図っている。
	健康長寿課 ㊼㊽㊾㊿	●シルバー人材センターの活動支援 高齢者が生きがいを持ち、これまで培った知識や経験、能力を生かした就労機会の確保と社会奉仕活動の参加促進を目的に設立されたシルバー人材センターの活動を支援している。
	障害者福祉課 ㊼㊽㊾㊿	
	こども支援課 ㊼㊽㊾㊿	●子どもの貧困対策活動支援事業（再掲） 支援が必要な家庭に、食支援等を行う活動を支援し、地域の見守りの支援にもつながっている。関係機関や関係団体と情報共有を図りながら協働を推進している。
	保健センター ㊼㊽㊾㊿	●妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援 経済的不安（生活困窮者）を抱える親子に対して、福祉政策課やこども支援課、生活サポートセンターと連携して支援を行っている。 ●健康教育事業の実施 健康増進法に基づき年間を通じて健康教育を開催し、生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図り、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することに努めている。
	社会福祉協議会 ㊼㊽㊾㊿	権利擁護支援を進める取組として、意思決定支援に関する取組を強化している。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅲ 安心して暮らせるまちの地域包括支援体制づくり

Ⅲ－３． 災害に備えた環境づくり

★めざす姿 ⇒ 災害時においても、迅速に対応でき、支え合える地域をめざします。

- ★実現に向けて
- ③⑥災害時に支援を必要とする人への支援体制を整備します。
 - ③⑦市民やボランティアによる支援を促進します。

No.	実現に向けての主な目標	回答課	現状 (R2)	目標 (R8)	R4	令和４年度具体的な取組内容	R5	令和５年度具体的な取組内容	めざす姿に向けた成果と課題
19	高齢者・障害者 福祉施設との 災害時における 要配慮の受け入れ に関する協定締結数 ③⑥	危機管理課	6	8	6	医療法人社団満寿会 鶴ヶ島ケアホーム 社会福祉法人忠黎会 鶴ヶ島ほほえみの郷 社会福祉法人稲穂の道 みどりの風鶴ヶ島 特定非営利活動法人あゆみ福祉会 多機能事業所 あゆみ 社会福祉法人ハッピーネット 鶴ヶ島ゆめの園 特定非営利活動法人こすもす こすもす作業所	6	医療法人社団満寿会 鶴ヶ島ケアホーム 社会福祉法人忠黎会 鶴ヶ島ほほえみの郷 社会福祉法人稲穂の道 みどりの風鶴ヶ島 特定非営利活動法人あゆみ福祉会 多機能事業所 あゆみ 社会福祉法人ハッピーネット 鶴ヶ島ゆめの園 特定非営利活動法人こすもす こすもす作業所	○成果 協定内容を円滑に実施できるよう協定施設 と災害時受入れ方法等について打合せや意 見交換を行った。また、協定施設の拡大に 向けて新たな施設との協議を実施すること ができた。 ○課題 要配慮者の受入れ体制の構築や資機材の備 蓄について検討していく必要がある。
20	個別避難計画の策定数 ③⑦	福祉政策課	1	希望者 すべて	284	計画策定対象者 1,613人	405	計画策定対象者 1,649人	○成果 定期的な名簿の更新を行い、令和６年度は ７月１日と１月１日時点の２回の抽出を 行った。 計画策定に当たっては、社協の事業である ここつなネットと連携し対応している。 ○課題 策定の優先順位が高いと考えられる対象者 の計画について、専門機関と連携し対応す る必要がある。

★主な担当課におけるその他取組の状況

	担当課等	関連する事業とその状況
	福祉政策課 ③⑥③⑦	
	危機管理課 ③⑥③⑦	
	社会福祉協議会 ③⑥③⑦	ここつなネットを通じて、チームを組むだけではなく、災害時の対応について考える 仕組みを作っているチームもある。